

I. 敗血症 DIC の病態

3. 病理学の立場からみた DIC の病態



宮崎大学医学部附属病院病理診断科助教 盛口 清香 (Moriguchi, Sayaka)
宮崎県立宮崎病院病理診断科部長 丸塚 浩助 (Marutsuka, Kousuke)

THROMBOSIS and Circulation



§ 論文のポイント

- [1] DIC 病態の基礎は、種々の基礎疾患によって引き起こされる、全身性の血液凝固亢進状態である。
- [2] 敗血症 DIC では、凝固能が異常亢進しているにもかかわらず、それに合った線溶系反応によって代償できていない状態である。
- [3] 組織学的な特徴は、多発性微小血栓と出血、それらの結果によって生じる臓器障害像である。
- [4] 微小血栓の構成成分は、DIC 早期には血小板優位であり、その後、フィブリン血栓によって置換される。

§ キーワード

敗血症 / DIC / 微小血栓 / 組織像